

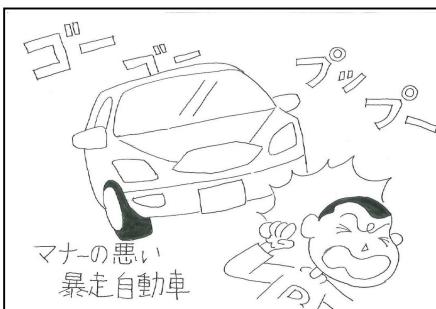
②経験者用調査用紙



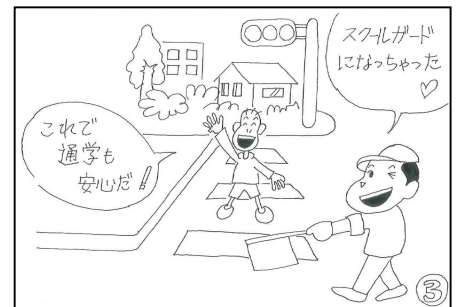
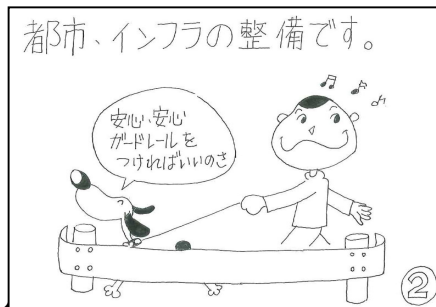
まずは、あなたのことについてお答え下さい。該当するものに○を。()は記入して下さい。

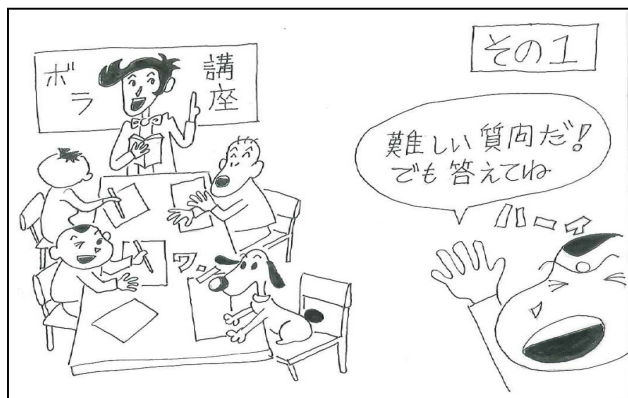
- 性別 男 ・ 女 ○年齢 () 歳
- お住まいの地区 ①三崎 ②初声 ③南下浦
- 職業 ①自営業 ②農業 ③漁業 ④会社員 ⑤公務員 ⑥専業主婦(夫)
- ⑦大学生 ⑧高校生 ⑨中学生 ⑩パート・アルバイト ⑪無職
- ⑫その他 ()

Q1：地域社会の中には様々な問題があります。あなたならどうしますか？



A1：①市民一人ひとりの意識の問題 ②都市整備（行政の責任）③自ら活動する（該当するもの1つに○）





Q : ボランティア講座・講習を受けたことがありますか? (該当するもの1つに○)

A : ある ・ ない

Q : 「ある」とお答えになった方に伺います。その後何か活動に結びつきましたか?

A : 結びついた ・ 結びつかない

Q : 今後どのような講習・講座を受けたいですか?

A : ()

Q3 : ボランティアの振興に必要な「モノ・場所」についてお聞きます。



Q : 活動をする上で、最も必要だと思うものは何ですか? (該当するもの1つに○)

A : ①全市的な活動場所

②身近な地域の活動場所

③備品・設備 (例) パソコン、印刷機など
()

Q : 活動場所の使用料はいくらまで負担できますか?

A : 1回につき () 円まで

Q4 : ボランティアの振興に必要な「活動資金」についてお聞きます。



Q : ボランティア活動のお金のあり方についての考え方を聞かせ下さい。(該当するもの1つに○)

A : ①ボランティアは全て無償・自費でやるものだ

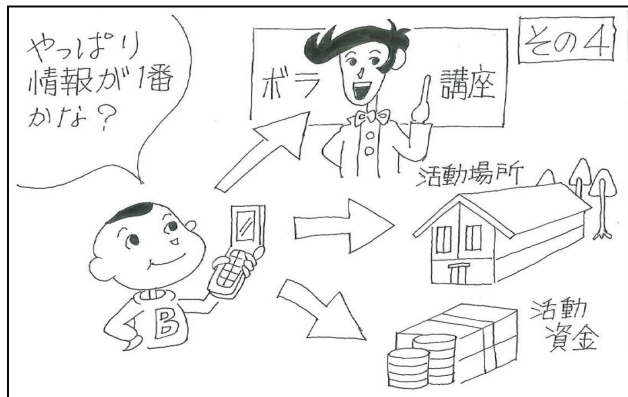
②市役所・社協の活動助成の範囲で行うものだ

③ある程度受益者に負担してもらうべきだ

Q : あなたなら活動のためにいくらまでお金を出せますか?

A : 1回につき () 円まで

Q5 : ボランティアの振興に必要な「情報」についてお聞きます。



Q : あなたにとって最も得たい情報は何か? (該当するもの1つに○)

A : ①ヒト (講座情報など) ②モノ・活動場所

③カネ (活動資金)

④その他 ()

Q : あなたはボランティア情報を何で得ていますか?

A : (HP ・ 広報紙 (社協みうら・三浦市民) ・
口コミ ・ その他 ())

(該当するもの1つに○)

A6: ①「人材育成」 ②「モノ・場所」 ③「活動資金」 ④「情報」

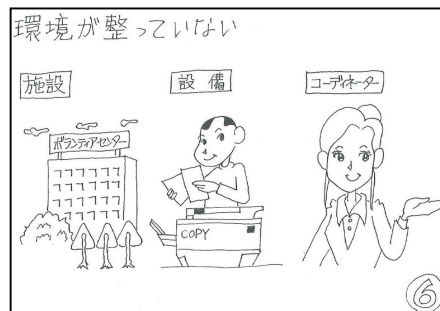
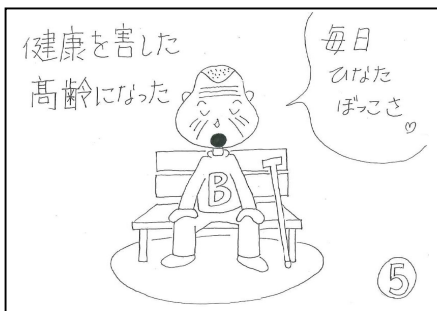
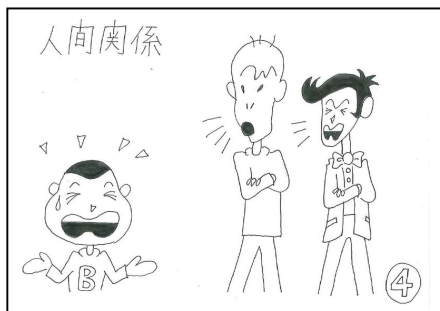
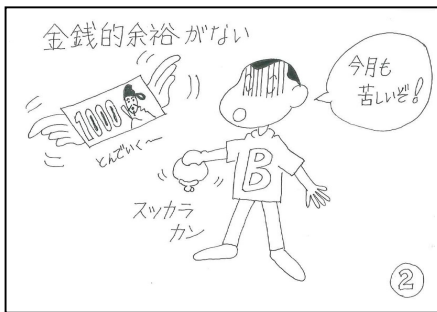
Q7: あなたがボランティア活動を始めたきっかけは何ですか? (該当するもの1つに○)

A7: ①友人・知人に誘われて ②インターネット ③その他 ()



Q8: かつてボランティア活動を行っていた方に伺います。あなたがボランティア活動をやめた理由は何ですか? (該当するものに1つに○)

A8: ①忙しい・暇がない ②金銭的余裕がない ③つまらなかった ④人間関係のもつれ ⑤健康を害した・高齢になった ⑥三浦市にはボランティアをする環境が整っていない



Q9: ボランティアセンター(三浦市社協)に最も望むことは何ですか? (該当するもの1つに○)



- A: ①ヒト (各種講座の開催など、人材育成)
 ②モノ (施設設備)・活動場所の提供
 ③カネ (活動助成と民間資金情報の提供)
 ④情報1 (ボランティアの需給調整に関する情報)
 ⑤情報2 (ボランティア活動資金の情報)
 ⑥情報3 (施設設備・活動場所の情報)
 ⑦ボランティアコーディネーターの資質の向上
 ⑧行政ボランティア窓口とボランティアセンターの役割分担の明確化



A：①市民への普及・啓発

- ②HP や情報紙によるボランティア活動の情報提供
- ③ボランティア活動の相談窓口の整備
- ④ボランティア活動の技術や知識の研修・講習
- ⑤ボランティア団体の活動体験の機会の提供
- ⑥ボランティア活動中の事故への保険制度の整備
- ⑦ボランティア団体への支援
(活動場所の整備や活動資金の補助等)
- ⑧ボランティア団体の交流会の実施

⑨表彰などボランティア活動を評価する制度

⑩ボランティア活動にポイントをつけ、そのポイントに応じて特典を受けられる制度

⑪登録制により、ボランティアを募集する者とボランティア活動を希望する者との仲介（コーディネート）

⑫児童・青少年に対するボランティア活動に関する教育

⑬ボランティア活動はそもそも市民の自主的な活動であるので関わるべきではない

⑭行政権限の一部を市民活動者の側に分掌し、住民自治の促進を図るべき

⑮公費助成のルールづくり

Q11：あなたがやっている、あるいは以前やっていたボランティアの種類を教えてください。（該当するものに○）



A：①保健・医療・福祉の増進 ②社会教育の推進

③まちづくりの推進

④学術・文化・芸術・スポーツの振興

⑤環境保全 ⑥災害救援 ⑦地域安全活動

⑧人権擁護・平和の推進

⑨国際協力 ⑩男女共同参画 ⑪子供の健全育成

⑫情報化社会の発展 ⑬科学技術振興

⑭経済活動の活性化

⑮職業能力の開発・雇用機会の拡充

⑯消費者保護

ご協力ありがとうございました。 同封の返信用封筒に入れてポストにご投函下さい。



ボランティア活動において最も尊重されるべきは主体性です。活動が続けたいらっしゃる方は、無理をせず自分のペースで今後とも活動を継続されることを望みます。それではまたいつの日か…（ボラ君より）